

さいたま市民医療センターにてノカルジア症でご加療中の方へ

当院では東京都立多摩総合医療センターとの多施設共同研究（日本におけるノカルジア症の臨床的疫学と感受性に関する後方視点的研究）に参加しております。この研究は日本のノカルジア症の疫学を明らかにすることで、診断、治療などの向上に役立てるための共同研究です。

【研究課題】

日本におけるノカルジア症の臨床的疫学と感受性に関する後方視点的研究

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 さいたま市民医療センター 臨床検査科

研究責任者 布施川 岳人

担当業務 臨床情報収集

【共同研究機関】

研究機関 東京都立多摩総合医療センター（主任研究施設）

千葉大学真菌医学研究センター

担当業務 データ解析、プロトコール作成、データコレクションフォーム作成

【研究期間】

2017年から2022年（但し対象症例の期間は2010-2017年）

【対象となる方】

2017年4月1日～2017年3月31日の間に当院内科でノカルジア症と診断された方。

【研究の目的】

ノカルジアは、土中などにいるグラム陽性糸状菌であり、ヒトにおいて重度の日和見感染を引き起こします。免疫抑制状態の患者の増加と関連して、ヒトのノカルジア症の症例が過去20年間で増加しており、その疫学を明らかにすることにより診断、治療の向上に役立てます。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会、東京都立多摩総合医療センター倫理委員会の承認を受け実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている微生物学的検査、臨床情報、治療情報などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

微生物学的検査の一部は共同研究施設の千葉大学真菌医学研究センターで実施された菌種同定および薬剤感受性検査データを使用します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当院臨床検査科において布施川岳人（管理責任者）が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えください。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後一定期間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医へお尋ねください。

この研究に関する費用は、一切かかりません。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

2019年12月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 臨床検査科
住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1
電話：048-626-0011